

国立大学法人島根大学国際交流センター

事業名	島根の伝統体験とふるさと交流2011in邑南町			
実施期間	平成23年9月2日～5日			
場 所	島根県邑智郡邑南町及び世界遺産石見銀山遺跡, 国立公園三瓶			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	22 名	215 名	11 名	248 名

＜実施内容＞

「田舎」というイメージの強い島根でありながら、実際に留学生が訪れるのは松江、出雲の都市部が多く、山里の豊かな自然と歴史に育まれた「本物の田舎暮らし」を知る機会は少ない。留学生に島根の伝統文化、生活様式や人情に直接触れ理解を深める目的で、島根大学と包括契約を締結している島根県邑智郡邑南町のご支援の下、本事業を実施した。島根の中山間地域にあって古くからの伝統と地理的特性を生かした農村の生活様式を残した邑南町を訪れ、民泊の皆さんとの交流や地元の神楽等の伝統芸能の鑑賞を通して、留学生に田舎島根の真髄と温もりを体験させることができた。同時に、外国人と接する機会の少ない中山間地域の住民や小学生に国際交流の場を提供し、相互理解を推進した。邑南町への往復の途中、ユネスコの世界遺産に登録されている石見銀山遺跡とその文化的景観(大田市大森町)や、国立公園三瓶の三瓶自然館サヒメル及び三瓶小豆原埋没林公園(大田市三瓶町)を見学し、留学生には古代や中世の多彩な歴史と風土に気付かせることができた。本事業により、島根における貴重な歴史、文化、自然についての学習会、意見交換会、各種体験を通し、当初の狙い通りの留学生達の島根への理解促進を図る事が出来た。



出羽(いづわ)神楽団による石見神楽披露と交流会

＜参加者からのコメント＞

ジウィアアロービッチ ルードウミラさん(ベラルーシ)/Zviarovich, Liudmila

邑南町の農家民泊では、日本文化や日常の生活に触れる貴重な機会を与えて頂きました。お母さんと作ったおはぎはとても美味しく、また興味深くもありました。陶器を作ったことも良い経験となりました。お父さんもお母さんも心のコもったもてなしで、我が子のように接して下さり、まるで本当の家族になった気分でした。素晴らしい時間を過ごせたこと、感謝したいと思います。

ゴシケンさん(中国)/Wu Zijian

日本へ来て6カ月、これが私にとって初めての旅行でした。石見銀山では、日本の皆さんが文化を大切に、古代遺産を保全、尊重、重視していることが分かりました。世界遺産センターで、銀山の歴史や鉱夫たちの大変な労働についても学びました。また邑南町矢上小学校では、子どもたちがとても活気にあふれ、礼儀正しかったです。給食のあと、皆使い終わった食器などをきちんと整理し片づけているのを見て、日本人のまじめさと教育の良さを知りました。この旅で、日本の美しい自然の風景だけでなく、古代の歴史と文化遺跡の保護がとても重要であることなど、多くを学ぶことができました。